



共創で自然と共生した

自分らしい豊かな暮らしを実現する

【設立目的】

医農福・産官学連携で「自然と共生し健康で幸福度の高い働き方・生き方」を創造し、地方創生に貢献する。

- 農業や農山漁村の自然が持つ健康効用を活用した、心身ともに健康なワーク・ライフ・スタイルの開発・普及
- ストレス計測技術の研究開発促進とその成果を活用した企業の健康経営サポート
- 健康な食づくりと食育、ならびにフードロス・フードマイレージの最小化に向けた仕組みづくりの促進
- 障害者や子育て層の快適な働く場や「ウェルビーイング農業」の創出



【法人概要】

法人名：一般社団法人Well-being in Nature

設立日：2023年10月17日

代表理事：小林 直樹

法人HP：Well-being in Nature

会員企業：

ヤンマーホールディングス(株)

(合)Well-doing

カゴメ(株)

わくわくパーククリエイト(株)

日本生命保険(相)

(株)オカムラ

幸南食糧(株)

(株)バイオマスアグリゲーション

(株)マイファーム

(株)EVCARE

(株)カクニ茶藤

北の近江マザーレイク共創会議

(株)パソナグループ

キャピタルブレイン(株)

TOPPAN(株)

自給自足カレッジ

東日本旅客鉄道(株)

(株)類設計室

(株)坂ノ途中

ONE SLASH(株)

(株)アシックス

宮城ヤンマー(株)

(株)BG

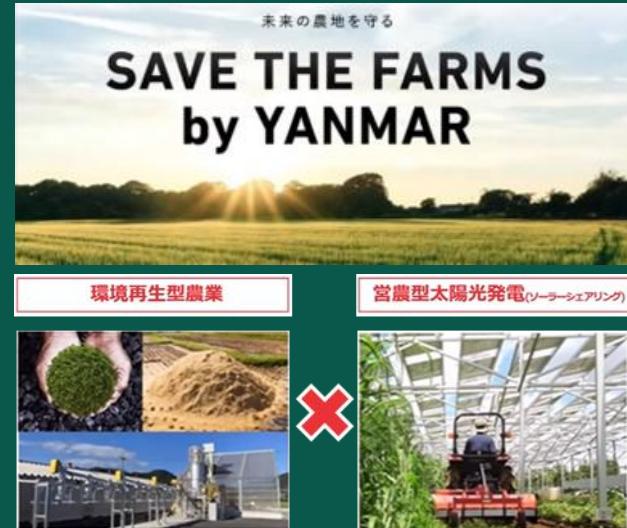
(一社)ウラホロ樂舎

資料 4-10

【会員企業の取組み紹介】

◆ ヤンマーホールディングス株式会社

【農福連携×環境貢献×収益性向上⇒企業参入拡大】



- 持続可能な農業の実現に向けて未来の農地を守る包括的プロジェクト「SAVE THE FARMS by YANMAR」を開始。第1弾として環境再生型農業と営農型太陽光発電を組み合わせたソリューションで「農産物の付加価値向上」「グリーン電力販売」による「収益性向上」を実現し、農業参入の障壁だった「収益性の低さ」を解消を狙う。
- 実証地の1つはヤンマーグループの特例子会社ヤンマーシンビオ시스株。農業体験を提供し、今後は更なる拡大を目指す。



◆ 株式会社パソナグループ ◆

【「国民総農業」を目指す農業人口拡大の取組み】



- 持続可能な社会の実現に向け人々が自然との繋がりを深める場として、自然循環型ガーデン「Awaji Nature Lab & Resort」や農家レストラン「陽・燦燦」を2021年に開設。
- “農ある暮らし”をコンセプトに自然循環型滞在施設『はたけのリゾート「燦燦Villa」』を2025年8月1日開設。「農業」や「食」、その根源である「自然」の大切さ、農を暮らしに取り入れる豊かさを実感していただき、農業に关心を持つ人々を増やす。
- 農業の持つ癒しの力で社員の健康をサポートする新しい企業向け健康経営サポートプログラム「Wellness Farm Club」も全国で拡大中。